

平成30年度(2018年度)

管理事業名	勤労者会館事業				総合計画の体系	第7章 第2節	活力あふれにぎわいのあるまちづくり 就労を支援する環境づくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 5	労働費	(項) 1	労働諸費	(目) 2	勤労者会館費		
部局名	都市魅力部	予算執行所属		地域経済振興室					
予算大事業名 施設管理事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
事業の目的と概要 【目的】勤労者の福祉の増進と雇用の安定のために設置された施設である勤労者会館は、指定管理者制度を導入し、施設の設置目的を効果的に達成するため、勤労者の文化教養の向上、健康の増進、余暇利用の充実など必要な情報の提供及び知識・技能の習得を図るための各種講座を実施しています。 【概要】・指定管理による運営管理 ・施設の修繕・点検等 ・改修工事にかかる実施設計業務									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
勤労者による貸室利用割合	%	44.0	44.0	47.0	利用者全体のうち、勤労者の貸室利用の割合
プール利用者数	人	42,424	38,336	48,797	プールの利用者数
成果の説明	・勤労者会館の設置目的である対象者について、年々減少傾向にありますが、平成30年度においては利用割合が増加しました。 ・プールについては勤労者の利用の割合は料金設定がないため不明ですが、健康増進施設としての利用が高い状況です。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	20,085	18,451	21,414	2,963
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	80	640	641	0
経常収入 小計(a)	20,165	19,092	22,055	2,964
給与関係費	5,710	5,787	5,757	△30
物件費	95,403	93,998	105,077	11,080
維持補修費	-	3,816	734	△3,081
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	4	14	5	△9
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	17,476	17,476	17,476	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	494	501	522	21
退職手当引当金繰入額	399	373	450	77
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	119,487	121,964	130,022	8,058
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△99,322	△102,872	△107,967	△5,094
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△99,322	△102,872	△107,967	△5,094
一般財源充当額	81,964	85,555	90,577	5,022
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△17,358	△17,317	△17,389	△72

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	利用人数が増加したことによる増額
物件費	実施設計の委託を実施したことによる増額
維持補修費	施設修繕が減少したことによる減額

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	20,165	19,092	22,055	2,964
行政サービス活動支出	102,129	104,647	112,632	7,985
行政サービス活動収支差額	△81,964	△85,555	△90,577	△5,022
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△81,964	△85,555	△90,577	△5,022
一般財源充当額	81,964	85,555	90,577	5,022
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)
会議室研修室使用料	10,797千円
プール使用料	10,617千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりのコスト	平成28年度	136,815人	873円	勤労者会館利用者1人あたり 886円のコストがかかっています。
	平成29年度	141,791人	860円	
	平成30年度	146,707人	886円	
開館1日あたりのコスト	平成28年度	305日	391,761円	勤労者会館1日あたり 424,908円のコストがかかっています。
	平成29年度	308日	395,987円	
	平成30年度	306日	424,908円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	501	522	21
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	501	522	21
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	382,027	364,551	△17,476	その他流動負債	-	-	-
土地	53,936	53,936	-	固定負債	5,425	5,318	△108
建物・工作物	328,091	310,615	△17,476	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	5,425	5,318	△108
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	5,927	5,840	△86
建物・工作物	-	-	-	純資産	376,100	358,711	△17,389
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	376,100	358,711	△17,389
資産の部合計	382,027	364,551	△17,476	負債及び純資産の部合計	382,027	364,551	△17,476

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

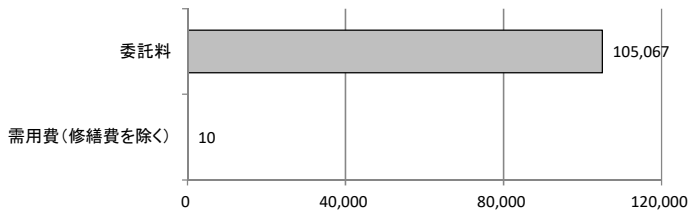
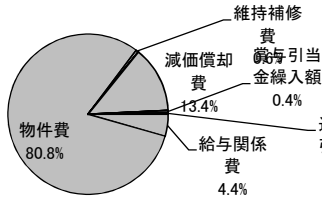
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	0.8人				6,759
給与関係費等	6,759千円				6,759
内、時間外勤務手当	0千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	勤労者会館における建物の減価償却による減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立勤労者会館
取得年月日	昭和60年6月1日
建物・工作物の取得価額	873,790 千円
建物・工作物の減価償却累計額	563,175 千円
利用料金収入	21,414 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差 B-A
			A	B	
施設維持補修費比率		-	0.4	0.1	△ 0.3
施設老朽化比率		60.5	62.5	64.5	2.0
受益者負担比率		16.8	15.1	16.5	1.4
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		80.3	81.8	80.4	△ 1.4
経常費用対公共資産比率		13.7	14.0	14.9	0.9

【参考:市保有施設全体の老朽化率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

- ・コスト全体の8割以上を物件費が占め、その全体は指定管理委託料が占めています。
- ・減価償却費がコスト全体の13%を占めています。
- ・老朽化率は64.5%で、市保有施設全体の老朽化率56.2%と比較すると、8.3ポイント老朽化が進行している施設となります。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

勤労者会館は本館については、昭和60年に設置されてから一度も大規模改修工事を行っておらず、老朽化が年々進んでいる状況です。令和2年度から令和3年度にかけて大規模改修工事を実施する予定となっており、老朽化率は下がる見込みです。